

【板書事項】

難しい漢字を覚えてみよう！

薔薇

薔薇

背景

険しい

【指導の流れ】

- 1 覚えにくい漢字を提示する。  
「だれでも覚えにくい漢字の代表である『薔薇』をドリル式のように何度も書かなくても、覚えられる方法を紹介し  
ます。」  
「字をよく見てください。薔薇は植物なので二つとも草かんむりです。」  
「『薔』は込み入っています。真ん中は『土に人人』です。」  
「『薇』は、微生物の微に似ていますが、真ん中に『一』があるところが違います。」  
「薔の『土に人人』部分と薇の『一』に赤丸を付けます。」  
「赤丸を付けたところだけしっかり覚え  
ます。」  
「手で隠して本当に覚えているか書いて  
みてください。」  
C 「書けました。びっくりです。」  
「『薔薇』を書ける人は、大人でも百人  
に一人いるかいないかの大変難しい漢  
字です。漢字検定一級の問題です。そ  
れをたった一、二分で覚えてしまいま  
したね。」
- 2 ほかの漢字にも挑戦させる。

【留意点】

「つがわ式漢字記憶法」の紹介。丸暗記ではなく、まず漢字の構造を理解する。次に、思い出しにくい部分に赤丸をつけ、そこだけを記憶にとどめようとする方法である。

記憶するためには、その思い出すきっかけを正確に覚えることがコツ。「最も思い出しにくいものだけを記憶すれば、残りの記憶も一緒に出てくる」という原理を使う。

大人でも非常に難しい漢字を書けるようにすることで、上学年に配当されている漢字や配当表以外の漢字に対しても読み書きできる自信をもたせる。「背景」「険しい」についても、児童自身が思い出しにくいところ一箇所赤丸を付けさせ、覚えさせる。

参考文献「世界最速『超』記憶法」

津川博義 講談社 + 新書